

一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社 平成30年度事業報告

◎滞在型観光の推進

1 広報宣伝活用事業

(1) 観光キャンペーン

西武鉄道株、秩父鉄道株、近畿日本ツーリスト株との合同キャンペーンや豊島区、埼玉県が主催するキャンペーンに積極的に参加してPRを実施した。

7/12(新宿区)、9/19(大宮)、11/23(豊島区)、1/22(大宮)、1/23(川越)、1/25(越谷)、3/27(所沢)

(2) HP、SNSの活用 (<http://www.chichibu-omotenashi.com/>)

Facebook ページを毎日更新「いいね」数 11,300人(5/31現在)

(3) デジタルサイネージ等

西武池袋駅、西武秩父駅、プリンスホテル、レストラン列車、各観光案内所でのデジタルサイネージに観光PR用動画コンテンツを放映し誘客を図った。

(4) 群馬DC(ディスティネーションキャンペーン)への協力

平成31年度群馬県で開催される、JR東日本主催のDCに向けたPR事業を埼玉県秩父地域振興センターと協同により検討した。

2 着地型観光商品の造成・販売

「旅の発見」が終了したことに伴い、「じゃらんnet.」で販売継続する。

➡ 案内人のツアー中心に販売

3 教育旅行のメッカ埼玉づくり事業

今年度5年目を迎え、公社の主事業となっている、「民泊を利用した体験型修学旅行」を今年度15校(内海外12校)の受入れを実施した。

(1) 国内実施校

○ 兵庫県神戸市立伊川谷中学校	221名	5/16~17	1泊2日	<u>64軒</u>
○ 大阪府堺市立五箇荘中学校	227名	5/28~29	1泊2日	<u>65軒</u>
○ 江戸川区立瑞江第三中学校	158名	7/24~25	1泊2日	<u>46軒</u>

外国人実施校

埼玉県観光課と協力し、外国人誘致のコンテンツとして民泊をPRし、受け入れる。

○ 台湾・新北市能仁高級家事商業学校	25名	4/18~19	1泊2日	<u>8軒</u>
○ 台湾・斗六高校	25名	5/15~16	1泊2日	<u>8軒</u>
○ 台湾・中正高級中学	30名	5/22~23	1泊2日	<u>9軒</u>
○ 台湾・台北市立第一女子高級中学	36名	5/25~26	1泊2日	<u>11軒</u>
○ 国立大学法人一橋大学	15名	7/12~13	1泊2日	<u>5軒</u>
○ 中国・北京第八十中学	12名	7/18~19	1泊2日	<u>4軒</u>
○ 中国・青島開平路小学	20名	8/1~2	1泊2日	<u>6軒</u>
○ 台湾・深セン耀梅紅芸術学校	33名	8/4~5	1泊2日	<u>10軒</u>
○ 米国・ミドルベリー大学	15名	8/25~27	2泊3日	<u>5軒</u>

○ 台湾・高雄市立三民高級家事商業職業学校	33名	10/16~17	1泊2日	<u>10軒</u>
○ 台湾・小港高級中学	25名	10/31~11/1	1泊2日	<u>8軒</u>
○ 韓国・青少年訪日団第3団	64名	11/10~11	1泊2日	<u>19軒</u>

(2) 体験プログラムの販売

受入に伴い、全体及びクラス単位ごとに行える、秩父地域らしい体験プログラムを構築し、旅行会社、学校にPRする。⇒ 今年1校でラフティングを実施。

(3) 受入家庭の確保

民泊を活用した修学旅行誘致を今後数多く受注するためには、受入家庭数が足りないため、200軒以上を目標にして開拓した。(登録件数：144軒)

(4) 民泊誘致営業(埼玉県教育旅行受入補助金)

旅行会社を中心に秩父地域の民泊誘致の営業を実施。

7/9, 11 都内、7/27 神奈川、8/9, 10 関西、11/30 名鉄観光、1/24, 25 広島県

(5) 農泊推進対策(農林水産省補助事業) ※2年継続2年目

・体験教育企画 藤澤良安先生の講演会(10/11 家庭向け、12 行政職員向け)

・先進地視察(3/7~8 長野県飯田市南信州観光公社 3/21~22 長崎県五島市)

⇒農水省の台湾プロモーション「行きたい農泊」アンケートで関東エリア1位を獲得。

11/9~11 農水省が台湾人による秩父農泊モニターツアーを実施。

4 観光案内人育成事業

公社が事務局となり、地域内にある11のガイド団体が参加している「ちちぶ案内人倶楽部」として、相互の情報交換、先進地視察、スキルアップ研修会などを開催した。

⇒平成30年9月29日より「地元ガイドと歩く! ミニ秩父旅ツアー」を6団体7コース造成し、公社HP及び「じゃらん.net」で販売開始(2日前まで予約可能、基本60分コース)

⇒12/3 秩父夜祭にて「街角ガイド」を実施。オマツリジャパンと共同で、増加する外国人観光客対応として、「初心者英会話教室」を開催し、参加者のスキルアップを行った。

5 広域観光レンタサイクル

実績 秩父6,632台、横瀬150台、皆野96台、長瀨1,844台、小鹿野55台、両神49台
合計8,826台(昨年9,838台)乗捨て252台

6 サイクル巡礼運営事業

サイクル巡礼を「秩父礼所巡り」の新たなツールとして確立していくほか、レンタサイクル事業とともにPRしていく。

7 事務局運営

(1) 彩の国秩父地域観光協議会

春夏・秋冬のポスターの制作、【秩父路】パンフレットの作成やキャンペーン事業を実施する。

(2) 秩父まるごとジオパーク

秩父市観光課より事務局移管(平成29年度~)を受け、公社内に「秩父まるごと

ジオパーク推進室」を設置し、ジオパークの普及、活用などを展開する。

◎外国人観光客の増加

インバウンド政策コア会議で提案のあった事業を中心に新規事業展開をするほか、継続したWi-Fiの整備や秩父市雇用創造協議会との連携、さらには、埼玉県、西武鉄道株のインバウンド事業にも協力して、外国人観光客の増加を図る。

なお、ガイド研修は観光庁の「広域周遊観光促進のための観光地域支援事業」(補助率1/2)を活用した。

○ インバウンド政策コア会議

埼玉県、1市4町行政観光担当、地元企業・旅館代表、西武鉄道株、秩父鉄道株、有識者、旅行会社(JTB、近畿日本ツーリスト)、インバウンド専門業者(MTT、ぐるなび、和テンション、グローバルディリー、大日本印刷等)で秩父地域のインバウンド政策について情報交換会を実施した。

⇒先進事例としてJNTO(日本政府観光局)のHPで取組紹介された
(<https://action.jnto.go.jp/>)

○ インバウンド担当情報交換会

西武鉄道株の主催により、定期的な西武、埼玉県、川越市、秩父市、公社のインバウンド担当の情報交換会に参加

(1) 受入体制整備

- ・ Wi-Fi環境整備(秩父市より業務委託)
⇒「CHICHIBU OMOTENASHI FREE Wi-Fi」を継続して、秩父市の東町商店街を始め地域全体の旅館・商店の希望者に拡大。
- ・ JNTOのカテゴリー1を取得した、秩父観光情報館、横瀬町ブコーさん観光案内所、長瀬町観光情報館」と協力・連携
- ・ 外国語ガイド育成(観光庁広域周遊ルート補助事業)
⇒ 埼玉県DMO(埼玉県物産観光協会)と連動し、トモダチガイド(Huber.)をプラットフォームにした英語ガイドを育成した。
- ・ 中国人情報発信誘客調査事業(秩父市より業務委託)
⇒ 以前秩父に在住しており、現在中国人を日本に誘客し、ガイドもしている王さんに業務委託し、中国人に向けた情報発信・誘客調査を実施。

(2) 誘致活動

- ・ JAL(日本航空)での観光プロモーション
埼玉県と協力した、機内誌8月号関東カラー8P掲載と機内ビデオ配信(10月~12月:秩父夜祭)を実施。⇒サンフランシスコのラウンジで秩父の特産品の提供
- ・ フランスアンテナショップメディアプロモーション: Meridian Partners株
- ・ LIVE JAPANによる記事広告: ぐるなび株
- ・ タイ人をターゲットとしたモニターツアーの開催: グローバルディリー
- ・ オマツリジャパンへの協力

- ・IoTカメラの設置：NTT 東日本
 - ⇒観光農園にカメラを設置し、海外ユーザーと双方向で秩父のフルーツのPRができるほか、IoTカメラの特性を活かした、品質管理を行うことができる。
 - 設置個所：秩父フルーツファーム

◎地域ブランド確立事業

1 販売促進

*物産展への出店

日本伝統文化フェスタ(5/11~13)、青年会議所ブロック大会(6/2)、西武鉄道横瀬車両基地フェスタ(11/17, 18)、豊島区染井よしの桜のふる里秋祭り(11/23)、農林水産省ディスプレイ農山漁村(むら)の宝物産展(11/23)

*秩父夜祭絹市への協力

12/2, 3に秩父神社前で開催される絹市の事務局として広報・会計等を協力する。

*東京ドームが開催する「ふるさと祭り東京」(来場者：約40万人)に5年連続出店

(全国どんぶり選手権に「秩父わらじ豚みそ丼も3年連続出店」(H31 1/11~20:10日間)

⇒ウイスキー祭り実行委員会と協力し、『秩父BAR』+1市4町の特産品で出店

*山崎製パンに協力し、公社監修(ロゴ入り)として「期間限定ご当地ランチパック」の平成30年度4月『豚みそ風』、7月『わらじカツ風』を販売する。

⇒『豚みそ風』131,836個、『わらじカツ風』127,040個

⇒西武鉄道新型特急ラビュー用【わらじカツ風】発売。

2 地域商社機能の確立

地域ブランドの確立を主目的として、公社内の地域商社機能を充実させ、観光消費額の向上と公社の自主財源の確保に向けた取り組みを展開する。

(1) 西武秩父駅「祭りの湯」

○ 店舗運営「LOVE CHICHIBU ショップ」

⇒「秩父美人屋台」の一角に出店したブースをリニューアル(4/25)し、新たな特産品の発掘やオリジナル商品の構築及びMDを行った。

⇒祭りの湯の前での「秩父マルシェ」(市場)をイベントに併せ、年間7回(4/29, 7/20, 8/19, 9/16, 12/16, 2/17, 3/16)実施。

(2) レストラン列車「52席の至福」

○ デイナーコースのお土産

⇒3ヶ月に一度変更される特産品を検討し、地域ブランド商品の開発に繋げる。

- ・皆野町シルバー干芋+横瀬の紅茶
- ・太田甘池堂羊羹+メープルベース秘密飴
- ・Bar チェアリー カントリークッキー
- ・横瀬の紅茶+COCOクッキー
- ・太田甘池堂羊羹+横瀬の紅茶

(3) 地域商社機能の拡充

○ 新たな販売場所の確保や商品構築を実施し、ブランドの確立や販売促進につなげる。(農泊促進対策補助金により、ECサイト制作)

○ 販売商品種類の拡大にむけ酒類販売免許の取得の検討

○ 新商品の開発

⇒西武レクリエーションからの要請により、フードコートのバージョンアップの企画を地域商社で行う。⇒鳥新弁当復活、武島屋いなり寿司の提供

(4) 農商工連携事業(中小企業庁補助金)

・中小企業庁より採択され、農業者や観光農園と商工業者のマッチングをサポートし、新規事業の確立を検討した。

(5) 森林環境税への対応

・秩父市森づくり課と連携し、秩父地域で実施している森林ツアー、木材商品の販売窓口として協力する。

(6) チャレンジショップの運営

・公社事務局のある「秩父ビジネスプラザ」の一階に秩父市企業支援センターが展開するチャレンジショップの運営委託を受注した。

⇒店舗改装、出店者募集、メニュー等の経営指導

◎ その他

1 ロケーションの誘致

ロケーションの対応を強化するため、誘致のシステムを構築し、多様化するメディアの要望に応え、秩父地域の露出を増やす。(実績 18 件、問合せ 58 件)

2 インターネットテレビ事業(秩父市より業務委託)

事務所のある「秩父ビジネスプラザ」に開設するインターネットテレビ『秩父おもてなしTV』の業務委託を秩父市から受け、新たな独自メディアを運営する。

⇒8/8 から放送開始 約30分番組《毎週水曜日》チャンネル登録数1,757人(5/31現在)

⇒企画もの(観光施設、食べ物、アトラクションなど) 10本製作

⇒観光庁訪日外国人周遊ルート補助金によりインターネットテレビ専用HP制作(観光庁広域周遊観光促進のための観光地域視線事業)

※登録制、個人投稿も可能 <https://chichibu-omotenashi.tv/>

3 秩父市雇用創造協議会との共同事業

今年度も観光分野では、外国人モニターツアーやブランド確立分野では、新商品開発などの事業を共同で実施した。

4 秩父温泉郷推進協議会

観光庁のモデル事業である「宿泊施設連携推進事業」に秩父地域が採択(全国4か所)され、秩父地域をひとつの“温泉郷”に見立て、共同購入を実施。

(秩父地域宿泊施設 18軒が参加)

⇒キャンペーン:1/12~2/24(秩父三大氷柱共通入場券、秩父源流水、イチゴデザート)

5 日本版DMOの推進・確立

観光庁が推進し、公社も登録されている「日本版DMO」で必須KPIとなっている「満足度、リピーター率、観光消費額、総宿泊者数」の調査を委託によりヒアリング形式で実施した。

- 実施場所：秩父観光情報館、道の駅ちちぶ、横瀬町ブコーさん観光案内所、道の駅みななの、長瀬町観光情報館、道の駅両神薬師の湯、秩父旅館業協同組合
- 昨年モデルとして実施した、Web アンケートも継続して実施し、ヒアリングと統合。

研修視察等の対応

⇒5/11 関東運輸局 5/22 事業構想大学院 5/22 新潟県新発田市 6/3 ETIC.
6/11, 7/9 JR 東日本企画 6/12 総務省行政評価局、6/15 群馬大学 6/19 愛媛県観光連盟 6/28 長野県諏訪広域 DMO 7/6 観光庁観光振興部長 7/18. 19 防衛省 7/26 JICA (国際協力機構) 7/31 長野県大田市 8/25, 26 (一社) 地域活性化センター 10/3 北海道北見市 10/11 長野県諏訪郡原村 10/13~15 ジェイアール東日本企画 10/15 JNTO (日本政府観光局) 10/18 宮崎県延岡市 10/22 京都府京丹後市 10/23 一橋大学 11/1 茨城県神栖市 11/2 岩手県宮古市 11/14 お小田急電鉄 11/19 専修大学 11/28 観光庁 (世界標準 DMO ヒアリング) 12/4 奈良県明日香村 11/20 岩手県庁 11/21 福島県庁 12/4 奈良県明日香村 12/6 宮城県仙台市 12/10 横浜国立大 12/13 JNTO (日本政府観光局) 12/20 青森県庁 1/23 北海道平取町、日高町 1/24 新潟県柏崎地域 1/29 滋賀県大津市 1/30 女子栄養大学 2/1 全国 DMO フォーラム 2/15 山梨県韭崎市 3/5 北海道大学 3/7 日本商工会議所 3/18. 19 千葉県物産観光協会 (近畿日本ツーリスト経由) 3/28 奥多摩市 3/24 長崎県五島市

7 旅行業種変更

平成31年2月8日に「地域限定旅行業」⇒「第二種」に変更済。

今後、外国人観光客向けの旅行商品を造成・販売を検討しているため、国内全体で展開できる、第2種に業種変更した。

8 受賞

☆ 第4回 ジャパンツーリズムアワード

日本観光振興協会、JATA (日本旅行業協会)、JNTO (日本政府観光局) 主催で開催される『ツーリズム EXPO ジャパン』(9/22~24) で行う、「ジャパンツーリズムアワード」の国内・訪日領域 地域部門の【DMO 推進特別賞】を2年連続受賞

☆ 第5回 ディスカバー農山漁村 (むら) の宝

農林水産省が主催する農山漁村の宝に「農泊」「夜祭外国人曳子ツアー」「横瀬紅茶のプロデュース」が評価され、埼玉県代表として認定

⇒11/22 首相官邸にてグランプリ選定、交流会開催

☆ SAVOR JAPAN

農水省が食を海外に発信する地域として募集⇒認定